

第2回国分寺市環境基本計画 市民ワークショップ

じぶん × 未来 × ぶんじ

～自分ごととして考える未来の国分寺の環境～

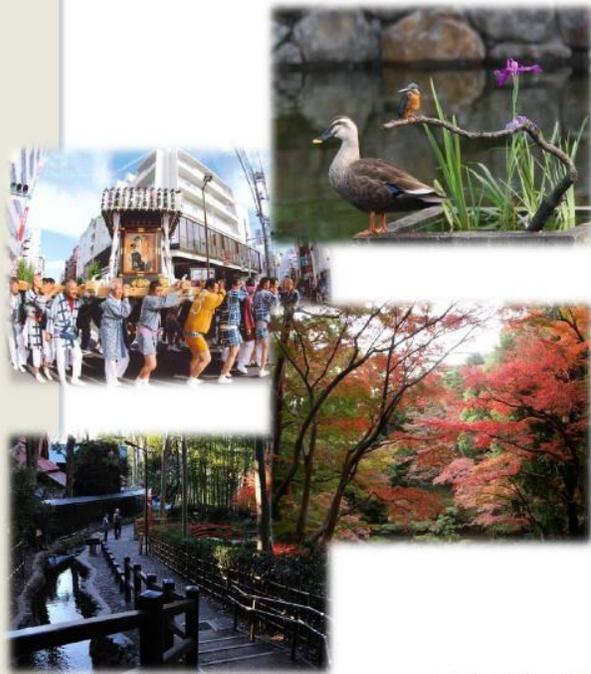
令和5年10月1日

国分寺市まちづくり部まちづくり計画課

背景画像：Google Earth

環境基本計画とは・・・

第二次国分寺市環境基本計画



平成 26 年 3 月
国 分 寺 市

環境の要素には、「自然環境」「地球環境」「都市環境」「生活環境」「環境教育・環境学習」など、様々なものがあります。**国分寺市環境基本計画**は、こうした様々な環境の分野に関する**市の環境施策を総合的かつ計画的に進めるための計画**です。

現行の計画が令和 7 年 3 月で終了することから、これまでの計画期間における社会情勢の変化や課題を踏まえ、これらに対応した新たな計画づくりに取り組んでいます。

ワークショップ開催の目的

第2回ワークショップでは、「生活環境」と「環境教育・環境学習」をテーマに、国分寺市の環境の現状の課題整理とアイデア出しへのご協力をお願い致します。

《現行計画》

第2次環境基本計画(H26.3)

計画期間

11年間(H26~R6)

《新しい計画》

第3次環境基本計画(R7.3予定)

検討中

5つの分野

自然環境

地球環境

都市環境

生活環境

環境教育・環境学習

社会情勢の変化

2030年、2050年の国分寺の環境を見ずえた視点・キーワード

生物多様性、国分寺崖線と湧水、農地、こくベジ循環型社会、食品ロス、ごみの減量・再資源化
GX(グリーントランスフォーメーション)
地球温暖化防止、気候変動適応 ※1

第1回

SDGs、コンパクトシティ、グリーンインフラ
公衆衛生、安全・安心な暮らし、環境教育
環境学習、行動変容、公民連携

第2回

改定の背景

人口減少・少子高齢化、コロナ禍
エネルギー価格の高騰、AIの発展、DXの推進
地球温暖化、生物多様性の劣化
海洋プラスチック問題、SDGs

※1 地球温暖化防止、気候変動適応等については、別途、脱炭素未来ワークショップを行い、それらの結果をもとに「(仮称)国分寺市地球温暖化防止行動計画(市域版)」(令和6年3月予定)の策定に向けた検討を行っていることから、今回のワークショップのテーマとはせず、検討状況についての情報提供とします。

ワークショップの進め方

第1回、第2回ワークショップは「現状の課題整理・アイデア出し」、第3回は「望ましい将来像・基本方針」について議論する予定です。第4回は「具体的取組」、第5回は「具体的取組・目標設定」について、意見交換する予定です。開催日時は市報やHP等でお知らせします。



第1回のワークショップの様子

環境基本計画の改定

令和7年3月頃予定

市民説明会

パブリック・コメント

計画案の取りまとめ

令和6年11月頃

市民ワークショップ（全5回）

第4回 令和6年5月頃
具体的取組

第5回 令和6年8月頃
具体的取組・目標設定

本日 第2回10月1日
現状の課題整理・アイデア出し

第3回11月25日
望ましい将来像・基本方針

第1回 8月19日(土) **実施済み**
現状の課題整理・アイデア出し

今日のプログラム（検討テーマ「生活環境」「環境教育・環境学習」）

10：00～10：05 あいさつ、企画説明 ※終了時間が前後する場合がありますので、ご了承ください。

10：05～10：25 話題提供（「生活環境」、「環境教育・環境学習」）

アイスブレイク（自己紹介）

テーマ1「生活環境」

10：25～12：00

- STEP 1 現状（強み（良いところ）・弱み（課題））について
- STEP 2 課題の整理（改善策のアイデア出し）について
- STEP 3 意見のとりまとめ

（適宜途中休憩）

テーマ2「環境教育・環境学習」

- STEP 4 現状（強み（良いところ）・弱み（課題））について
- STEP 5 課題の整理（改善策のアイデア出し）について
- STEP 6 意見のとりまとめ

12：00～12：30 グループごとの発表

12：30 閉会のあいさつ

参加者アンケート・第3回ワークショップのお知らせ

生活環境（暮らしの快適さ、安全・安心）

1. 暮らしの快適さと安全・安心に関する取組
2. トピックス：グリーンインフラ

1. 暮らしの快適さと安全・安心に関する取組

●大気環境分析調査



市内7つの調査地点で毎年定期的に調査を実施しています。

調査項目	R4年度判定
二酸化窒素 (NO ₂)	○
一酸化炭素 (CO)	○
二酸化硫黄 (SO ₂)	○
浮遊粒子状物 (SPM)	○
PM2.5	○

出典：令和4年度事務報告書

※判定の「○」の表記は、調査項目のごとに設定されている環境基準を満たしていること

すべての調査地点で環境基準を満たしていました。



出力

気象観測器

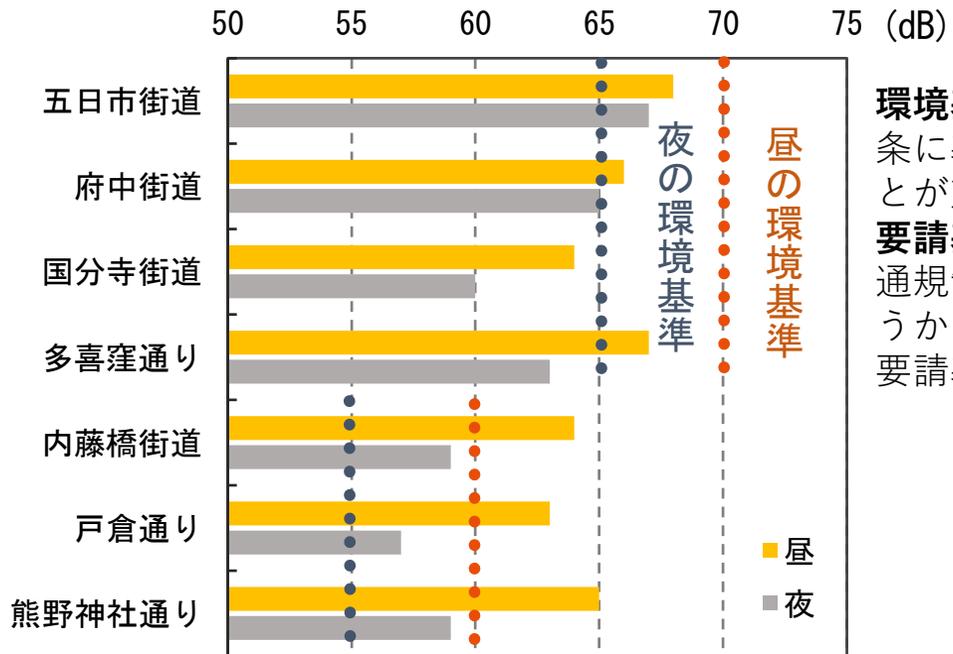
メーター

1. 暮らしの快適さと安全・安心に関する取組

●騒音・振動調査



市内7つの調査地点で毎年定期的に調査を実施しています。



環境基準：環境基本法第16条に基づく、維持されることが望ましい目標値
要請基準：公安委員会に交通規制措置を要請するかどうかの限度を示す値
 要請基準 = 環境基準 + 5dB

出典：令和4年度事務報告書

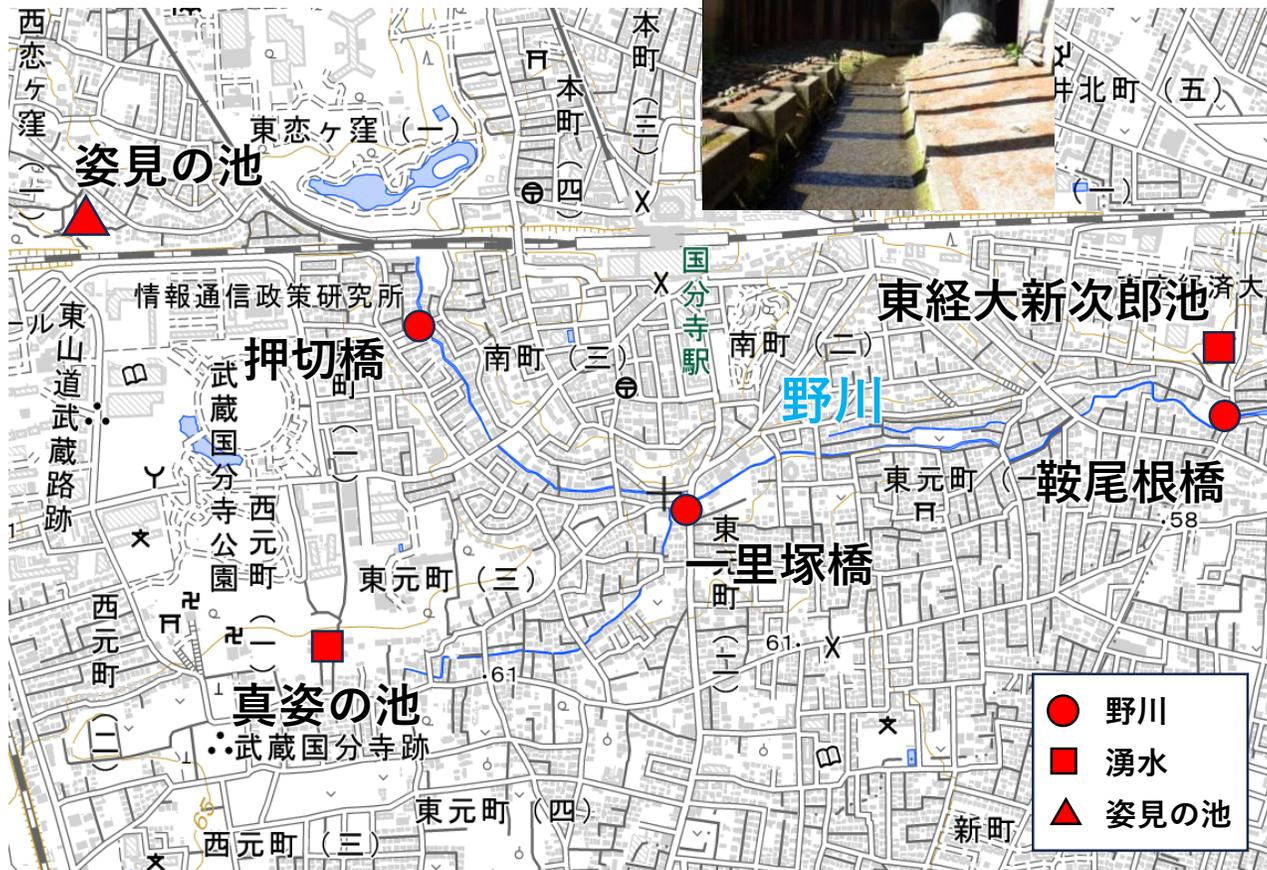
図 調査ポイントにおける騒音調査の結果

騒音調査では、要請限度は下回りましたが、複数地点（五日市街道（夜のみ）、内藤橋街道、戸倉通り、熊野神社通り）で環境基準を超過しました。振動調査では、要請限度・環境基準を満たしていました。



1. 暮らしの快適さと安全・安心に関する取組

●水質調査



野川 3 地点で年 7 回、湧水の 2 地点で年 6 回、姿見の池で年 1 回、それぞれ実施しています。

調査項目	R4年判定
pH (水素イオン濃度) 酸性・アルカリ性の度合い	○
BOD (生物化学的酸素要求量) 有機物量	○
SS (浮遊物質) 水に溶けない水中の粒子の量	○
DO (溶存酸素量) 生物の呼吸に必要な水中の酸素量	○
その他項目 (湧水 2 地点における地下水の水質汚濁に係わる環境基準)	○

出典：令和4年度事務報告書

すべての調査地点で環境基準を満たしていました。

※判定の「○」表示は、調査項目のごとに設定されている環境基準を満たしていること

1. 暮らしの快適さと安全・安心に関する取組

●水道水における有機フッ素化合物（PFOS、PFOA）の情報提供（市HP）

平成22年度以降、市内の水道事業はすべて東京都水道局に移管しています。

東京都水道局では「PFOS及びPFOAについては、国の暫定目標値を下回っており、水質の安全性に問題はありません」との見解を示しています。

給水エリア	PFOS及びPFOAの合計（暫定目標値：合算で50ng/L）			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
東恋ヶ窪配水所	5ng/L未満	5ng/L未満	5ng/L未満	5ng/L未満
国分寺北町給水所	14 ng/L	7 ng/L	6 ng/L	7 ng/L

出典：東京都水道局ホームページ

※水質管理目標設定項目として給水栓水(蛇口)において、暫定目標値（合算で50ng/L）が設定されています。50ng/Lは体重50kgの人が一生涯にわたりこの濃度の水を1日当たり2Lの量を摂取したとしても、健康に対する有害な影響が現れないと考えられる値とされています。

1. 暮らしの快適さと安全・安心に関する取組

国分寺の環境美化の取組状況

○ クリーン運動

国分寺市民クリーン運動実行委員会を主体に毎年11月に開催している市民の公共場所での一斉清掃活動のこと

○ 喫煙マナーアップキャンペーン

国分寺駅において、商店会、東京経済大学、関係団体等と協働でポイ捨ての防止及び路上喫煙に関する規制の啓発等、マナーアップキャンペーンを毎月実施。

○ 駅前放置自転車クリーンキャンペーン

放置自転車の撤去活動を強化するとともに、啓発用ティッシュ配布とともに放置自転車のマナー向上を呼びかける駅頭広報活動を毎月10月に実施。



クリーン運動の活動の様子



駅前放置自転車クリーン
キャンペーンの活動の様子

2. トピックス： グリーンインフラ

コンクリートなどの限りある資源を活用したインフラ整備（グレーインフラ）ではなく、自然が持つ多様な機能を賢く活用することで持続可能なインフラ整備を行うこと。地球温暖化の緩和や浸水対策、生きものの生息・生育空間の提供など、環境への効果が期待されている。

<屋上緑化>



<グリーンストリート>



<公共施設の緑化>



<雨庭（あめにわ）>



<雑木林（防風林）>

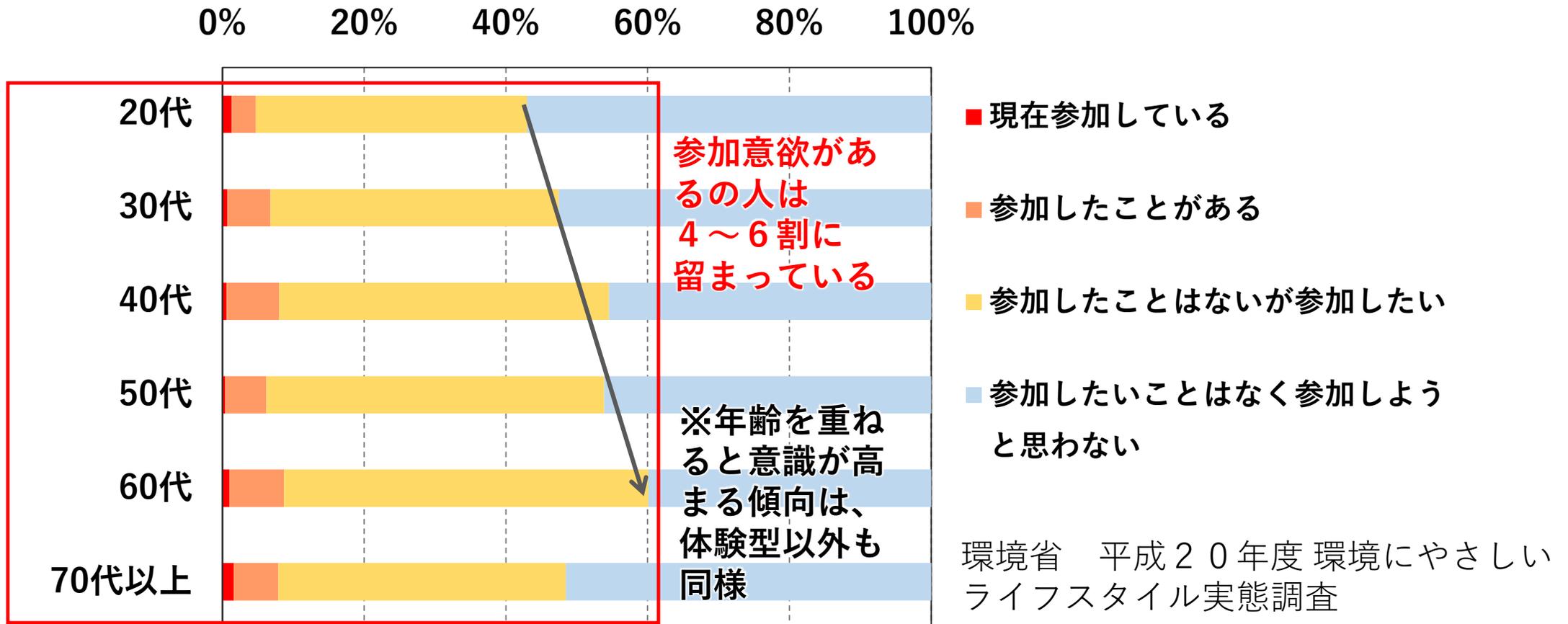


環境教育・環境学習

1. 環境教育・環境学習に参加したことはありますか
2. どうしたら自分自身の環境への行動変容が起きるのか
3. 市の環境教育・環境学習に関する取組
4. 他自治体、団体の環境教育・環境学習に関する取組

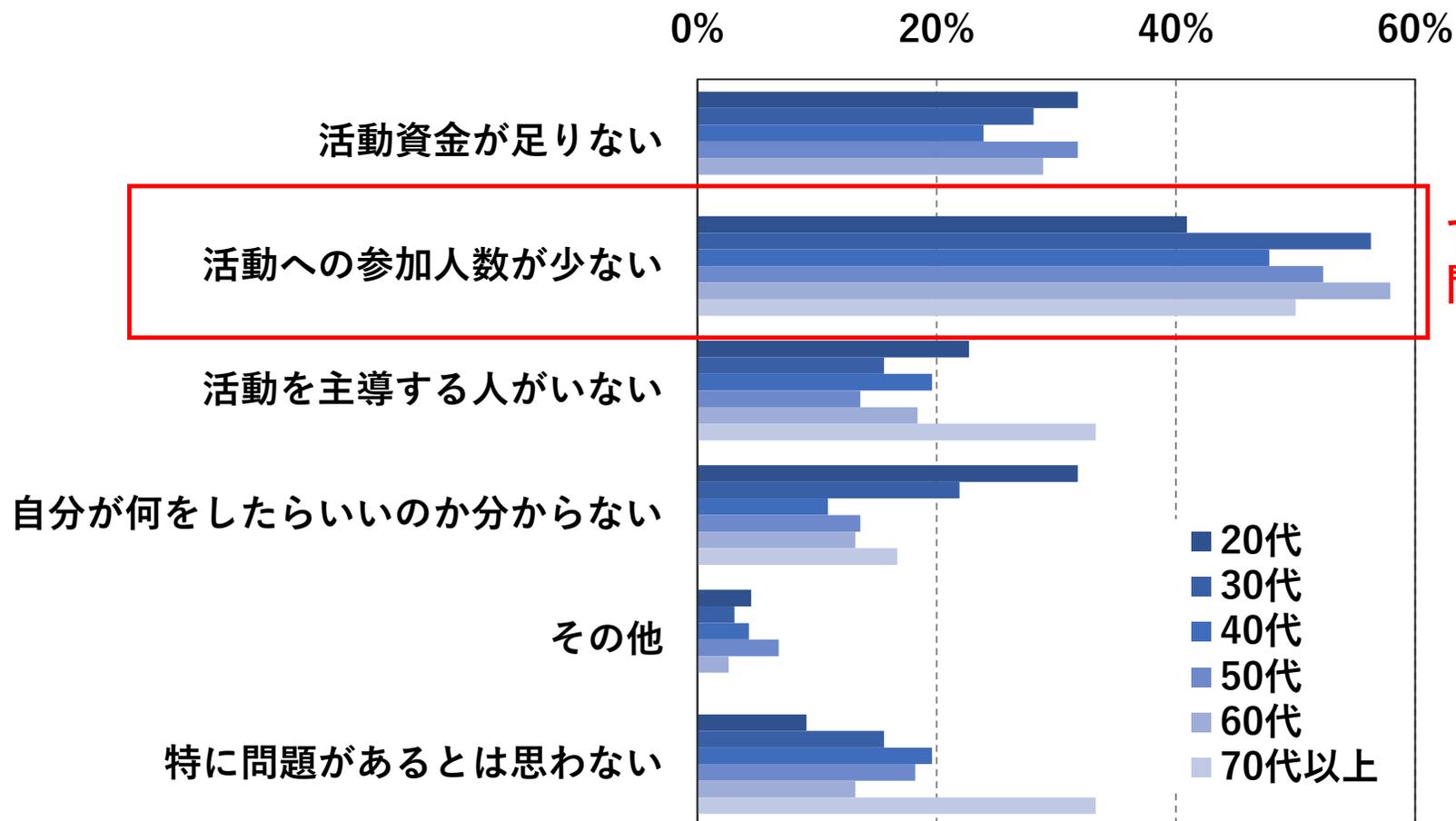
1. 環境教育・環境学習に参加したことはありますか

質問 1 あなたは、過去一年間に、体験型（自然観察会、クリーン運動等）の環境教育・環境学習活動に参加したことがありますか？



1. 環境教育・環境学習に参加したことはありますか

質問2 (参加経験者に聞きます) 民間団体への活動に当たり、あなたが感じた問題点はどのようなものですか？



すべての世代で参加者不足を問題点に挙げている

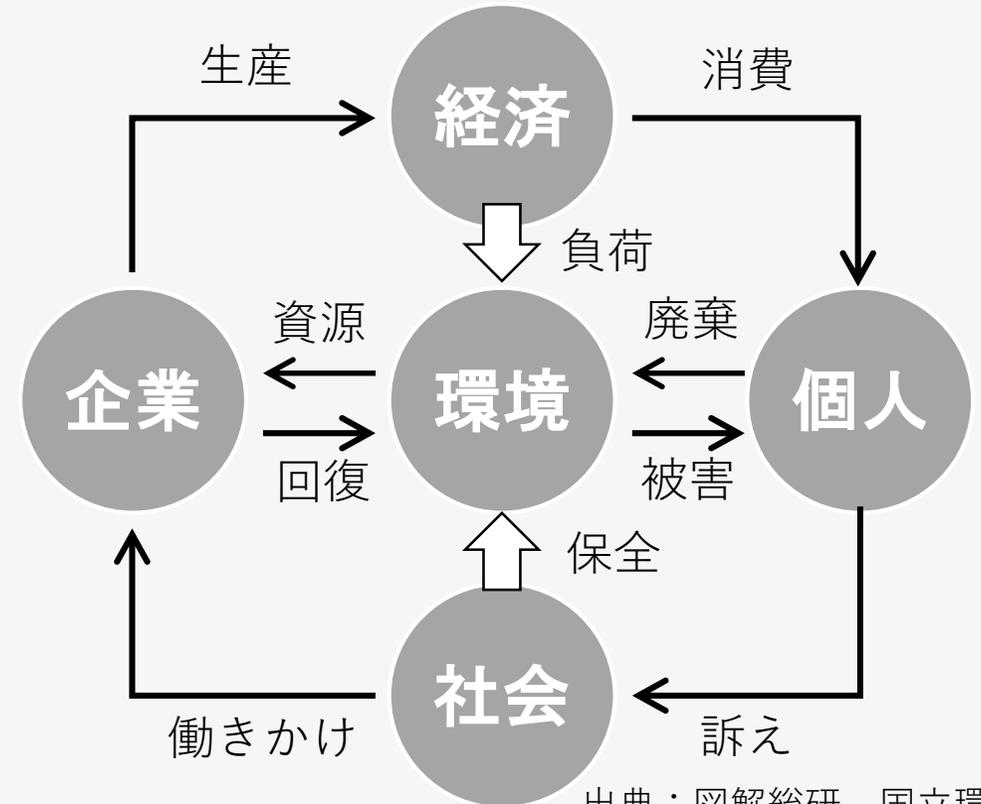
環境省 平成20年度環境にやさしいライフスタイル実態調査

2. どうしたら自分自身の環境への行動変容が起きるのか

環境問題はすべての人が関係者であり、責任がある



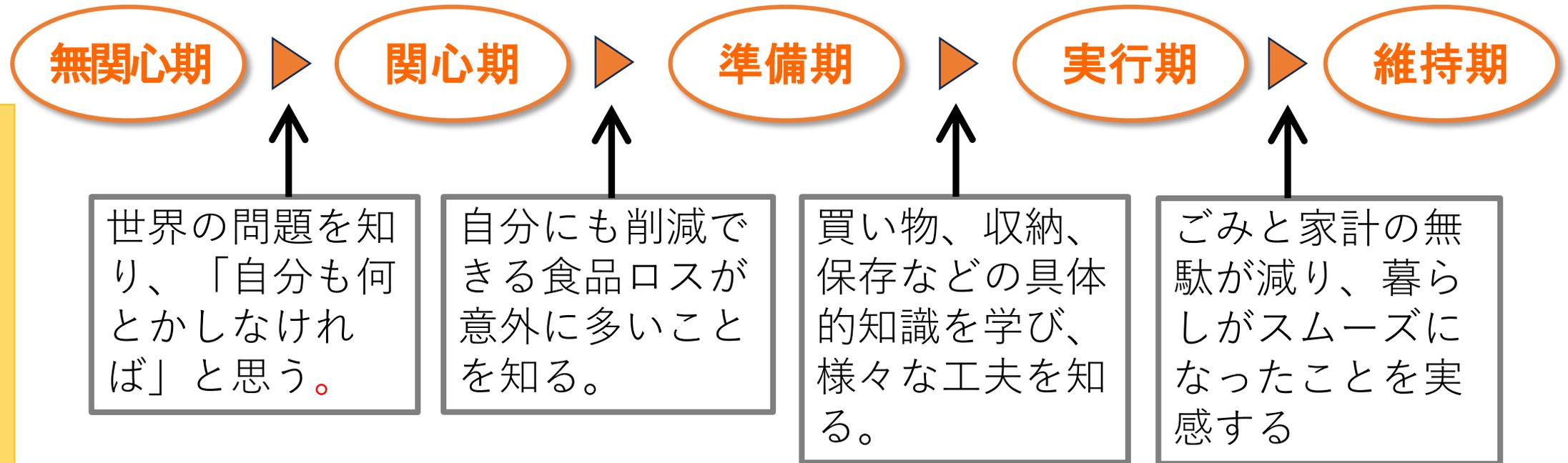
人間活動が原因で様々な環境問題が深刻化



出典：図解総研、国立環境研究所

2. どうしたら自分自身の環境への行動変容が起きるのか

人が行動を変える場合は5つのステージ（段階）があります



出典：「消費者教育推進プロジェクト」鳴門教育大学

見る、知るを経ないと行動には移らない

3. 市の環境教育・環境学習に関する取組の紹介

●環境ひろば

市民・事業者・市が環境をテーマとして自由に意見交換する場である。誰でも参加可能。

時間：毎月第3日曜日 場所：市役所

ニュース発行

見学会

【湿地・里山保全見学】

環境ひろば 国分寺
発行 国分寺市環境ひろば 国分寺市
第178号 令和5年7月9日

【フリートーク：次期環境基本計画に向けた実行計画の議題（都市環境）】
6月18日（日）のフリートークでは、令和7年3月に策定される「第二次国分寺市環境基本計画」（以下、「次期計画」という。）に向けて、実行計画の都市環境分野を中心に議論を行いました。
都市環境の分野では、施策の方向に基づく「環境に配慮したまちづくり」や「地域性豊かな景観の形成」において、様々な施策が挙げられています。次期計画では、実効性のある計画となるよう、目指す都市環境実現のための課題の明確化、施策目標等について活発に意見交換しました。
主な意見の抜粋は、以下のとおりとなります。

● 実行計画に「地域住民の交流によるまちづくり」の施策を位置付けているが、施策を展開する取組が、手付かずの状態であり、今後どう整理するのか考えた方がよい。
● 参道のハリアツグー（記）は、どのくらい進んでいるのか具体的に示してほしい。
● 「基本計画で掲げた施策の考え方は『自然の恵みを享受しながら』との表記があるが、もはや自然恵みとは言えないと思う。現状認識を改めてから策定した方がよいと思う。
● 基本計画全体に「地域特性」や「環境に配慮」などの表記があり抽象的でビジョンが不明確で悩むと思う。市民と一緒に現状と課題が共有した方がいいと思う。
● 実効性のある施策を計画に位置付けて、成果指標をしっかりと設けることが必要だと思う。
● 市民活動がどうなされているか実態を把握しているのか、良い取組があれば展開していくということが大事だと思う。

皆様も、実行の第二次環境基本計画の内容を、市ホームページ（検索ページ番号「1003200」）でご覧いただけます。ご意見があれば、環境ひろば事務局までご連絡ください。

【国分寺市の方は必見！身近な自然とふれあう保全活動イベント「里山へGO！」参加者募集】
東京都環境局及び（公財）東京都環境公社では国分寺市の方を募集した、身近な自然とふれあう保全活動イベント「里山へGO！」を国分寺市役所の油津地保全域で開催します。市民のみならず、是非参加ください。（参加費無料）

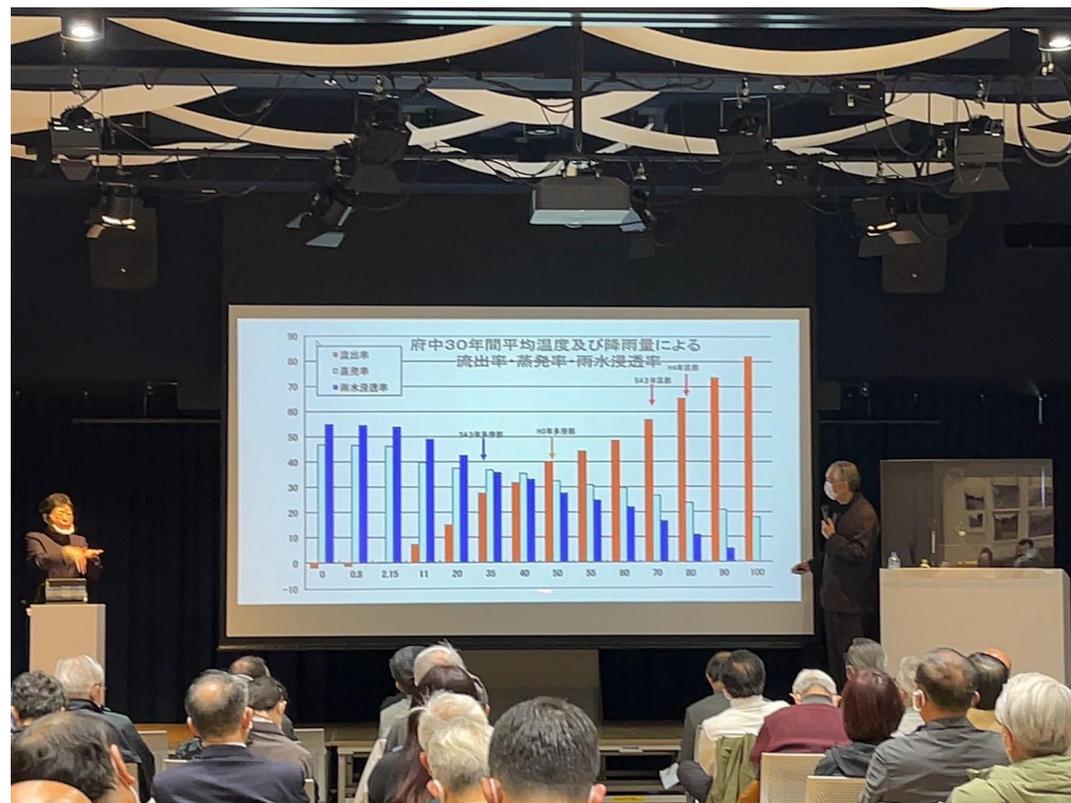
日時：令和5年8月26日（土）9時30分～12時30分
場所：国分寺市役所の油津地保全域
対象：国分寺市在住の市民の方となります。
※その他の地域の方も申し込みは可能
募集人数：30名（応募者多数の場合は、抽選となります。）
※参加の方に「参加費」と「フード」をプレゼントします。
申込方法：「里山へGO！」HPよりお申込みください。

お問い合わせ先： 見学の油津の会 白木昭憲
（公財）東京都環境公社 油1 | Tokyo-metoyama@kyokukansyo.jp | oil@raki@net.ocn.ne.jp
Tel:042-626-2702 | 090-6614-1616



●環境シンポジウム

市と環境ひろばが協働して毎年実施している環境に関する講演会



3. 市の環境教育・環境学習に関する取組の紹介

3R講座

市のごみ処理、リサイクルの現状と処理について理解を深め、市民と市が協働して地域のごみ問題を解決するために、ボランティアリーダーの育成を目的として実施。



講演会



分別体験

3. 市の環境教育・環境学習に関する取組の紹介

●夏休みこども自然教室

小学生を対象に西恋ヶ窪緑地（エックス山）を探索しながら、植物や昆虫などの自然観察等を通じて自然にふれあい・学ぶ体験学習。



西恋ヶ窪緑地における過去の夏休みこども自然教室の様子

3. 市の環境教育・環境学習に関する取組の紹介

●身近な生きものさがし

ツバメ、カブトムシなどの市内の身近な生きものを目撃情報を収集し、生きものに関心を高めることを目的とした取組。

春・夏編と秋・冬編に分けて年に2回実施しており、市民のみなさまから提供いただいた情報は、報告書として市HPに掲載している。

【4月報告】



アズマヒキガエル
撮影場所:西恋ヶ窪一丁目
(姿見の池)



ヒキガエル
撮影場所:富士本一丁目
(住宅地の道端)



カラスビシャク
撮影場所:西恋ヶ窪三丁目

【5月報告】



キシヨウブ
撮影場所:西恋ヶ窪一丁目
(姿見の池)



ナガミヒナゲシ

3. 市の環境教育・環境学習に関する取組の紹介

● 「姿見の池 アメリカザリガニ捕獲大作戦」

小学生を対象にした体験型イベント。

環境アドバイザーの講師をお迎えしアメリカザリガニが日本に生息している理由、生態系に及ぼす影響、ペットを飼う心構えなどについて学習する。

学習後、釣り形式でアメリカザリガニを捕獲し、生物多様性と命について子どもたちが考えるきっかけづくりを目的に実施している。



環境アドバイザー 講師 林鷹央さん

4. 他自治体、団体の環境教育・環境学習に関する取組

かつしか生きもののトランプ

- 東京都葛飾区 葛飾区生物多様性推進協議会（区、事業者、区民の協働設立）

区内に生息・生育する生きものや自然環境に対する関心・興味が芽生えるように、生きものの写真を使用したトランプを作成。トランプを活用した小学校等への出前授業を行っている。



小学校への出前授業の様子

4. 他市町村、団体の環境教育・環境学習に関する取組

市民版環境配慮指針「こだいらゼロカー本」

●東京都小平市 エコダイラネットワーク

小平市の環境、ひいては地球環境を良くしていきたいと思いで集まった市民により作成された冊子。

みんなで楽しくゼロカーボンを目指すことに視点を置いて作成されており、みんなの行動はどれだけ省エネ効果があるのか、いくら家計費がお得になっているのかなど楽しく省エネできる内容になっている。



4. 他市町村、団体の環境教育・環境学習に関する取組

●東京いきもの調査団 2023夏編 東京都 × 「BIOME」 (株)バイオーム

東京都が、株式会社バイオームと連携して、スマートフォンのアプリ「BIOME (バイオーム)」を活用した誰もが手軽に楽しめる生きもの調査を実施。

「東京いきもの調査団」は、東京の生物多様性を守るために、都民に生きもの調査団に参加してもらい、野生生物リスト（野生生物目録）を作成するプロジェクトである。

東京都 × BIOME

みんなでつくる! 東京の野生生物目録

東京いきもの調査団
TOKYO Digital Wildlife Inventory

夏編 2023年8月3日(水) → 9月30日(土)

「東京いきもの調査団」は、東京の生物多様性を守るために、多くの方にいきもの調査に参加してもらい、野生生物リスト（野生生物目録）を作成するプロジェクトです。

いきもの調査団員、募集中!

あなたも一緒に、
東京のいきものリストを作りませんか?
森、里山、都市公園、干潟、サンゴ礁…
都市には様々な自然環境があり、驚くほど
多様な野生のいきものたちがくらしています。
いつもの道の街路樹のかけ、田んぼのあぜ道、
何気ない瞬間に見つきたいいきものを投稿して、
東京のいきものリストを、超ビッグにして
ほしいのです。
必要なのは、スマートフォンと、好奇心。
東京を舞台に、
いきもの探しの大冒険を始めましょう!

スマホアプリ「Biome (バイオーム)」で調査に参加しよう!

1 アプリをダウンロード!
アプリ「Biome (バイオーム)」をダウンロード (無料)

2 いきものを撮影・投稿!
植物や昆虫など野生のいきものを見つけて、写真を撮って投稿!

3 素敵な賞品が当たります。
クイズも連発して「ハッパグット」抽選で素敵な賞品が当たります。

素敵な賞品をプレゼント!

無料
ダウンロードはこちらから

賞品の詳細は裏面へ